

事後評価調査書

I 事業概要						
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良工事）					
地区名	主要地方道 岡崎半田線					
事業箇所	岡崎市矢作町地内					
事業のあらまし	当該交差点は、岡崎市から安城市を經由し半田市を結ぶ幹線である主要地方道岡崎半田線と、国道1号が交わる交差点である。現在通勤時はもちろんのこと、都市間を連絡する幹線として交通量が多いが、右折車線が無く渋滞が激しい。このため、渋滞に起因する衝突、接触事故等が頻発しており、死亡事故も発生している。国道1号においても拡幅工事が完了しており、ネック点を解消するうえでも、早急に改良を行い、渋滞緩和及び事故防止を図る必要がある。					
事業目標	【達成（主要）目標】 ① 交通死傷事故の削減 ② 交通円滑化・渋滞軽減 【副次目標】 なし					
事業費	事業費		内訳			
	0.50 億円		■工事費 0.47 億円、■用補費 0.01 億円、■その他 0.02 億円			
事業期間	採択年度	平成20年度	着工年度	平成20年度	完成年度	平成22年度
事業内容	交差点改良工事（右折帯設置） 延長 L=90m W=12.0m (1.5-3.0-3.0-3.0-1.5)					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】 ① 交通死亡事故および死傷事故率が減少した。 ② 右折帯設置により交差点部の車両の滞留が無くなり渋滞が解消された。 【達成状況に対する評価】 ① 事業実施前（H15～H19）と事業実施後（H22～H24）の交通事故の発生状況を比較すると、「死亡事故件数」は、1件から0件へと減少した。また、交通量を加味して交通事故の発生割合をしめす「死傷事故率」は、218.5件/億台キロから184.2件/億台キロへと削減することができた。このことから、交通死傷事故の削減について当初の目的を達成していると考ええる。 ② 右折帯設置により、右折車が原因による渋滞は解消されており、交通円滑化・渋滞軽減について当初の目的を達成していると考ええる。				
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 - 【達成状況に対する評価】 -				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	死亡事故件数および死傷事故率が削減されていること、渋滞も解消されており、初期の事業目標を達成しているため、今後の事後評価の必要はない。					
改善措置の必要性	上記のとおり、初期の事業目標を達成しているため、改善措置の必要はない。					

同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。
--------------	--